

会 議 録			
第5回 和光市第9期長寿あんしんプラン策定検討会議			
開催年月日・招集時刻		令和6年2月13日 午後1時30分～3時	
開催場所		和光市役所6F 603会議室	
開催時刻	午後1時30分	閉会時刻	午後3時
出席委員		事務局	
村山 洋史		健康部	部長 斎藤
大冢賀 政昭		健康部	次長 梅津
峯 友彦			長寿あんしん課 課長 中野
佐藤 貴映		〃	課長補佐 川口
内野 裕嗣		〃	課長補佐 浅井
川淵 由美		〃	長寿支援担当統括主査 酒巻
山口 はるみ		〃	介護保険担当 島津
岩崎 郁人			
八木沢 直子			
村山 喜三江			
鈴木 正敏			
関口 泰典			
欠席委員			
本橋 ふみ			
関塚 永一			
岩崎 郁人			
備 考			
会議録作成者氏名			

会 議 内 容

中野課長

皆さんこんにちは。本日は大変ご多用の中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。本日の進行を務めます、長寿あんしん課課長の中野でございます。よろしくお願いいたします。

会議を開催いたします前に、本日の資料を確認させていただきます。

《事前送付》配付資料

資料1 第4回会議の主な意見と回答

資料2 パブリック・コメントの結果について

資料3 第9期長寿あんしんプラン 変更箇所のみ

資料4 第9期長寿あんしんプラン ダイジェスト版

参考資料 第8期長寿あんしんプラン ダイジェスト版

前回資料2 計画書案

《当日》配布資料

次第

表紙の案 3枚（カラー刷）

この策定検討会議は、和光市市民参加条例第12条第4項の規定により公開となります。また、会議後は会議録を作成し公開をいたします。その際、記録については要点記録とし、各委員のご意見、ご発言については、委員名を明記した上での議事録といたしますのでご了承ください。なお、会議録作成のため録音を行っておりますが、作成後に消去をいたします。

それでは村山会長に会議の進行をお願いいたします。

村山会長

皆様こんにちは。ただ今から、第5回和光市長寿委あんしんプラン策定検討会議を開会いたします。本日の会議は15時までとなりますので、円滑な議事進行のご協力をお願いいたします。

それでは、会議の開催にあたり、委員定数について事務局の報告をお願いします。

川口課長補佐

この策定検討会議の委員は、今回14名の方が委員であり、その過半数である8名の出席が会議の成立要件となりますが、本日過半数以上、10名の出席ですので会議は成立いたします。

村山会長

ありがとうございます。

	<p>それでは議事に入っていきたいと思いますが、はじめに議事録署名委員の指名をさせていただきます。名簿順でございますが、本橋委員と村山委員のご両名に議事録の確認と署名をお願いします。</p>
川口課長補佐	<p>本橋委員は今日、いらっしゃいませんので、次は鈴木委員です。</p>
村山会長	<p>では、村山委員と鈴木委員、お願いいたします。 傍聴人はいらっしゃらないということによろしいですか。</p>
川口課長補佐	<p>はい。</p>
村山会長	<p>それでは議事に沿って進めたいと思います。 今回の資料を見ますと、前回の意見やパブリック・コメント等の意見を踏まえて、議事の（３）にある長寿あんしんプランの部分で修正がなされているようです。議事の（１）から（３）まで、すべてが関連しておりますので、一括して議題を進めていきたいと思います。事務局はこの流れで説明をお願いします。</p>
川口課長補佐	<p>それでは議題（１）から（３）に分けてご説明をさせていただきます。 資料を使って説明をしてみたいと思いますが、資料に一部訂正がございます。資料ごとにお伝えしてまいりますので、ご了承いただければと思います。 最初に、議題（１）のところで、資料１をご覧ください。訂正箇所が１箇所ございます。まずNo.9、左側の番号をつけているNo.9の大塚賀副会長の、認知症初期集中のところの右側の回答箇所、こちら「ページ91に活動内容について」となっておりますが、こちらは91ではなく92に訂正をお願いいたします。 また、加筆箇所といたしまして、その左側のナンバーが振ってあるかと思いますが、17番以降、関塚委員の、126ページの老健、こちらのところから、番号が抜けております。上から18、19、20、21、そして、サービス基盤整備方針のところは22、最後、議事その他で23、18から23まで番号を振っていただければと思います。誠に申し訳ございませんでした。 それでは改めて、資料１について、第４回会議の主な意見と回答等を一覧にさせていただきます。資料の加筆・修正の列の「あり」につきましては、後の議題（３）で資料３を踏まえて説明をする予定でございます。「なし」につきましては、前回の会議中に回答した内容もございましたが、右側に記載しております通りでございます。例えば、No.2の包括のエリアと圏域のエリアについてですが、ここは圏域についての説明が主としているところで、圏域ごとの３色のままとしております。ただ、地域包括支援センターとの関係、見せ方につきまして</p>

浅井課長補佐

では、パブリック・コメントでも指摘があったところです。今回はこのままでありますが、この後わかりやすいように検討したいと思います。

また、No.15、16の人材確保の関係につきましては、計画には今後調査した中でその結果に対応することとしますので、今回の計画では計画記載の通りと考えております。

次は議題（２）「パブリック・コメントの結果報告」をさせていただきます。長寿あんしん課の浅井です。よろしくお願いいたします。

最初に、資料２をお手元にご用意ください。資料の訂正を２か所お願いいたします。左側に番号が入っていると思いますが、８番のところ、２枚目の一番上にあるかと思いますが。一番右枠の市の考え方の記載のところ、「第８期長寿あんしんプラン」とありますが、正しくは「第９期」になります。８を９に訂正をお願いいたします。

続きまして１３番、最後になります。市の考え方のところで「６に同じ」と書いてありますが、正しくは「８に同じ」です。６を８に訂正をお願いいたします。

それでは、説明に入らせていただきます。１２月２５日の第４回策定会議においてご議論いただいた意見を基に、長寿あんしんプランを一部修正の上、その後確定させ、長寿あんしんプラン、その後、市民説明会を、国保ヘルスプランと共同で３回実施しております。１月１０日の午後に坂下公民館、同日の夜間に市役所、１月１４日の日曜日に市役所のほうで説明会を行いました。参加人数は各回とも３名で、計９名の方のご参加をいただきました。

また、パブリック・コメントにつきましては、１月５日から１月２４日までの間実施しております。いただきました意見は７名、１団体で、１４件のご意見をいただいておりますが、そのうち１名、１件につきましては、住所や氏名の記載がなく、パブコメの要件を満たさないため報告はしておりません。全体といたしましては、今回パブリック・コメントでいただいた意見による修正はありませんでした。

内容の説明に入らせていただきます。大きく分けて５つの意見がございました。そのカテゴリーに分けて説明をいたします。No.１から４についてですが、「若年認知症や高次脳機能障害になった方の支援について、プランに特記してほしい」という旨のご意見がございました。第９期プランにおいては、若年認知症や高次脳機能障害といった特定の状態に対する記載はありませんが、多制度多職種の連携が必要な件については記載などがございますので、修正をしないというかたちにいたしました。

続きまして、資料２の５番のところですね。南地区に南第２包括支援センターの設置に対する要望でしたが、過去に、第４期、７期に、包括の設置が進ま

ず、南包括支援センターの人員の拡充をした経緯がありますので、修正をしないというかたちにいたしました。

6番、7番、9番、12番は特別養護老人ホームの設置を、もっと早く設置してほしいというご意見でした。皆様ご存知の通り、現在の8期計画で整備には至りませんでした。その理由として、土地や物件の確保が困難であること、人材の確保が困難であること、また、事業者の手が挙げにくい環境などの意見がございました。これらの課題を解決するためには、しっかりと課題解決に向けた対策を十分に検討した上で実行する必要があるため、今年度はスケジュール感をもって取り組むという趣旨を記載しております。

No.8番、13番については、交通弱者支援についての要望でした。現在、公共交通政策室と福祉部門において協議を重ね、対策については検討中であるため、プランの中には掲載はしませんが、方針等が示された際にはしっかり取り組む旨を記載しております。

No.10については、日常生活圏域と包括支援センターの構築区域を統一してほしいという要望でした。地域福祉計画で共通事項として日常生活領域を示しています。一方、包括支援センターの担当地域については、高齢者数だけではなく、センターの支援者数やケースの支援の継続性をかけて検討した結果、現在の区割りとなっています。そのため、今回の計画については変更しないことといたしました。

以上で、議題（2）の「パブリック・コメント結果の報告」を終わります。

続きまして、議題（3）「第9期長寿あんしんプラン（最終）について」の説明をさせていただきます。

最初に資料として、資料1の第4回会議の主な意見等、資料3の「和光市長寿あんしんプラン（地域包括ケア計画）」を使用いたしますので、お手元にご用意をお願いいたします。

資料3につきましては、今回修正をしているところを赤字記載させていただいております。最初に資料1のところ、左側のNo.1のところですね、関口委員のほうから、5ページの市民協働、協働指針となっているのは市民参加条例ではないかというご指摘をいただきましたので、資料3の5ページにおいて訂正をさせていただきます。

次に3番、川淵委員の57ページのコミュニティケア会議の記載についてのご指摘に対しては資料3の57ページの通り、コミュニティケア会議の目的を補記してございますので、地域包括ネットワーク、その目的の1つであることがわかるように記載を変更いたしました。

続きまして、資料1の4番のところ、山口委員の、地域共生社会の記述がわかりにくいというようなご指摘をいただきましたので、資料3のほうの60ページのところに地域共生社会の説明を加え、62ページの基本理念にも地域

川口課長補佐	<p>共生社会の説明を加筆いたしました。</p> <p>続きまして、5番の村山会長の、評価指標の説明については、資料の89ページ、111ページに補足を入れております。</p> <p>続きまして、資料1の6番、7番、村山会長からの地区社協の活動参加者数の根拠についてのご指摘がございましたので、資料3の66ページに本年度の見込みの人数を2,500人と記載いたしました。</p> <p>続きまして資料1の8番のところで、大冨賀副会長のほうから、生活支援コーディネーターの記載に対するご意見がございましたので、68ページで「地区社協は地区の課題を発見し、地域住民が主体の取組みを実施すること」や、「地区社協と生活支援コーディネーターの関係性」、また「生活支援コーディネーターの方向性」などを記載させていただきました。69ページのコーディネーターや各事業の進捗状況についてモニタリングを行って評価を行うこと、また、70ページで地区社協の第1層、第2層の取組みの内容を記載いたしました。続きまして、資料1の9番、大冨賀副会長による認知症初期集中チームの活動内容についてご意見をいただきましたので、資料3の91ページに追記をさせていただきました。</p> <p>続きまして、資料1、No.17の山口委員の集中減算のご指摘です。資料3の116ページ、一番下のところに、「第8期計画期間中において、当該減算対象になった事業所はありません。」と記載させていただきました。</p> <p>続きまして、資料3の126ページ、令和5年度の老健のショートステイの数値が誤っていたので修正をしております。</p> <p>資料3で1枚めくっていただきますと119ページになるかと思えます。こちらは、大冨賀副会長の進捗評価の関係というところのご質問に対して、交付金の評価を明記させていただきました。</p> <p>次のページ、144ページとなっていると思いますが、こちらにつきましては、山口委員の介護保険料の全国平均の記載というところがございます。こちらにつきましては、第4回の会議の時に、確か5,757円プラスアルファというようなかたちでお示ししていたかと思えます。その後、国のほうから介護報酬の引き上げ等を踏まえまして、最終的に5,880円となりました。144ページの通り、月額5,880円、年間70,560円と掲載しております。</p> <p>めくっていただきまして、145ページの上のところに参考1としまして、国、埼玉県、和光市の6、7、8期の保険料基準額を記載させていただきました。</p> <p>資料3の修正箇所の説明は以上となります。</p> <p>次に資料4、長寿あんしんプランのダイジェスト版をご覧ください。まずは修正箇所、5ページが一番下のところ、「2-3 ケアマネジメントの強化と地域課題の解決も向けた取組み」、こちらは、真ん中辺りの「1-3 健康増進浴</p>
--------	--

場施設利用補助」と同じ記載になっております。下の2-3のところは健康増進浴場ではございません。こちらにつきましては、「ケアマネジメントの強化と地域課題の解決に向けた」というところで、本編のほうにも書いてあるコミュニティケア会議だとか地域ケア会議等を推進して、地域課題の整理・検討や政策形成につなげていくといった内容のものを記載する予定でございます。

今回の第9期の概要版の構成や見栄えなど、ご意見いただければと思います。例えば、資料の1ページ、計画策定の背景のところとかにつきましては、文字も多いところがございますので、わかりやすく、短く、枠とかもなくして、どちらかという参考資料の中でも枠を使わずに背景の色といったところで開放感とかを出しておりますので、そのようなかたちに修正を加えたいと思います。あと、下の計画期間も文字になっておりますが、第8期概要版の2ページ目に、表のようなかたちになっており、視覚的には文字というよりも、このようなかたちのほうが見やすいと思いますので、そういったところの修正をしたいと事務局では考えております。

以上で議題（3）の「第9期長寿あんしんプランについて」を終わります。また、この各委員のご意見を踏まえるところではございますが、あとはこの資料3の表紙の裏面に市長の言葉、また巻末に添付資料としまして設置要綱とか委員名簿、策定経過を掲載しまして、資料の一通りの完成というふうになるかたちになります。

以上、議題（1）から（3）についての説明は終了となります。

村山会長

説明ありがとうございました。議題（1）から（3）の説明が終了しました。資料1から4に対するご意見とか、また全体でのご意見等いただければと思っております。いかがでしょうか。

山口委員

ダイジェスト版のところ、見栄えは図などが入ったほうがいいと思いましたので、今おっしゃっていただいた形で直していただければと思います。また、和光市の売りというか、介護予防のところはもう少しスペースがあるといいと感じました。

それと、パブリック・コメントのほうでもあって、今までの委員の話し合いでも出ましたが、特別養護老人ホームのご希望は結構あるというお話で出ました。現場で感じていることは、もし特養ができたとしたら、まず他市の方が入ってしまうのではないかと思います。和光市の方が入りたいのですが、特養もやっていかなければいけないので他市の方がどんどん入ってきて、特養が埋まってしまうという懸念があります。和光市では、介護度が重くならないように介護予防を率先してやっていて、重くならないためにサ高住だったりとか、グループホームだったりとかいうことで、地域に根付いた場所で暮らしていくと

	<p>いうところが今まではあり、そういうところが何か見えるといいなと思います。意見です。</p>
村山会長	<p>ありがとうございます。事務局から何かありますか。</p>
川口課長補佐	<p>先ほどご意見をいただいた中で、まず、こちらのダイジェスト版は8ページという制約がございます。ただ、おっしゃるところもわかります。そちらの内容を盛り込めるかどうかというところは、量などを踏まえて、後でまた修正を考えたいと思います。場合によっては少し難しいところがあるかもしれません。この会議が最後にはなりますので、この後の修正した部分はご覧になっていただいた中で、最終的なところをしたいと思います。以上です。</p>
村山会長	<p>はい、ありがとうございます。他はいかがでしょうか。</p> <p>質問です。第8期のダイジェスト版を拝見して、例えば、保険料のところとか、用語とか、使い方が8期と9期のもので違うのがあったりするなと思って、例えば、今回9期であれば基準額に対する割合で1.00に対して所得によって何倍というのがありますが、第8期のときは保険料率という言葉を使ったりしています。この辺りの言葉は統一する必要はないですか。</p>
川口課長補佐	<p>こちらにつきましてはおっしゃる通り、統一するほうがよろしいかと思いません。出典や法令根拠をきちんと確認して統一したいと思います。</p>
村山会長	<p>ダイジェスト版の金額のところは、年額ではなくて月額保険料ですね。</p>
川口課長補佐	<p>はい、こちらは月額です。</p>
村山会長	<p>他はいかがでしょうか。</p> <p>もう1つ確認したいのですが、ダイジェスト版というのは誰がどう使うことを想定して作られているのですか。市民の方がパッと見るのを想定していらっしゃるのか、それとも、例えば事業者の方とかが参照するために使われるのか、どうでしょうか。</p>
川口課長補佐	<p>明確に位置づけはしておりません。基本的には市民の方が見ていただくものです。もちろん、いろいろな、お届け講座みたいな市民説明だとか、業者さんだとかいう部分においても同じように使っていこうとは思っておりますが、基本的には市民の方というようなイメージではございます。</p>

村山会長	<p>使い方はどうするのかというところで、例えばダイレクト版を見て本編のほうで詳しく見てもらおうための概要であれば、例えば本編のほうのページ数を載せておくなどの必要もあるかと思います。また、このダイジェスト版だけで概要をわかってもらおうとするならば、具体的な取組内容も書き入れられていますが、「何々の配置」と書いてあってもそれだけではよくわからないような気がします。</p>
鈴木委員	<p>今の意見に関連して、ダイジェスト版は結構、枚数的に市民に配られると思います。この本編を含めて、市民がどれだけ目を通すのか、これからの決め方などから、和光市の長寿あんしんプランを理解する上で、市民が知っていかなければいけないのですが、8期のときのダイジェスト版を含めて、どのように市民に浸透していったのかが見えないところがあります。先ほど言われたようにお届け講座などもありますが、8期のときにダイジェスト版を使ってどうプランの内容を市民に浸透していったのか、その辺りの具体的な状況を聞かせていただきたいと思います。</p>
川口課長補佐	<p>浸透状況というところですが、大体お届け講座のときには全体的な話をしまして、よくあるのが、やはり皆さんの身近にある認定の仕方だとか、そういったところ、結構、自分が出たところではどうやって判定するのかとか、どういったサービスあるのかというところでございましたので、計画全体というよりは、その中のご自身に合った部分、実際のサービス、実際の認定の仕方というところがありました。こちらのほうはどちらかという、大きく見てこういった計画があるというような概要的なかたちで使ったというような記憶がございます。それで計画全部のほうをご理解いただいたかという、何とも言えないところではあります。そういったかたちで資料として使ったというのが自分の出たお届け講座での使用の仕方でした。</p>
大夢賀副会長	<p>ダイジェスト版のことについて議論していると思いますが、私の提案は、山口委員から指摘があったようにもう少し図を入れたほうがいいと思います。少なくともこの8期のところでは、2ページ目に計画期間があって、3年に1度作られて今は9期になっているというところの状況がわかったりとか、最初の基本方針・目標の辺りがわかったりとかします。今回はこういった章自体がないと思いますが、前回のパンフでは6ページ目に全体構想のような図があって、和光市ではこういうことを頑張っていますということがわかると思います。何かそれに近い図を入れた方がいいかと思います。それが今回の概要版を見ると、4ページ目に、基本理念・施策の体系で、黄色の重点課題を設定しているということだと思いますが、何かレイアウトをもう少し工夫するか、この</p>

4ページ目の下の表は半分でもいいと思うので、この上に、何か図か、今回の9期では、こういうことにすごく力を入れていますということ、何が変わって、今、何をやっているのかという、ビジュアル的な図がないと、説明するほうも大変だと思います。時系列で今どこの到達点で、9期ではこういうことを頑張っていきたいと思っているという、キャッチーな図がないと、これを説明で配ったりするのはもったいない気がします。ご検討いただければと思います。

それから、私の感想ですが、やはり山口委員がおっしゃられたように、今回、1つは住民さんのご関心が特養を建てるかどうかというところに結構集中していて、それに対してこの委員会でも議論をして、それを建てるより、事業者が応募してくれるよう、和光市が決めたということが1つ大きなところだと思います。そこのところを、何かこの概要版で強調してもいいのではと思います。

もう1つ感想ですが、このパンフレットの概要版の7ページ目の下段、埼玉県平均より高いという、私はこれを今日見たんですが、これまでは全国平均よりも、埼玉県平均よりも500円ぐらい低かったのですが、もう8期ではあまり差がなくなっていると思いました。これが9期になるとどうなっているのかというところがあって、和光市が予防に力を入れて保険料が低いという特長がなくなってきたように思います。それは高齢化が進んでいるというところでしかたないことだと思いますが、今回は、予防をこれまで以上に力を入れるということとともに、要介護者に対する質の向上とか、ケアマネジメントというところをしっかりとやっていこうということが、この9期のポイントではないかと思います。そこのところで、委員からいろいろな意見があったと思います。認定率が低いと言っているが、重度認定率と軽度認定率の両方がある、重度認定率を見るとそれほどでもないということがわかっている、そこから、重度高齢者に対するいろいろな在宅医療・介護連携も含めたマネジメントを、しっかりこの9期中でやっていくということは、実はいろいろなところで書かれています。そこのところは、この概要版の全体図の中でもしっかりとわかるよう、今回の9期のポイントであることが書かれると、概要版を使って説明していくときには、和光市は今こういうことになっていて、私たち住民も知らなければいけないよねという気になると思います。そういった気持ちになるような図を作っていただきたいと思います。以上です。

村山会長

本編の中には計画全体の在り方を示すようなポンチ図みたいなものはなかったでしょうか。

川口課長補佐

第8期のダイジェスト版の6ページのようなもの、そういったところを示しているものは、今回の計画ではありません。改めて全体的にというか、本編の

	<p>ものを確認したいと思います。</p> <p>あと、ダイジェストのほうでおっしゃられた、特養の明記の部分につきましても、担当のほうで、例えばページ数が多いというのをお話ししましたが、課題の整理というところを少し縮小もしくはなくして、特養とか施設の一覧とか、先ほどの全体の図とか、そういったところの調整をしてはどうかと思います。施策の体系のところの見栄えを良くするとか、調整したいと思います。</p>
村山会長	川淵委員、お願いします。
川淵委員	<p>資料2のパブリック・コメントのNo.7、これは特養の話で出てきたと思うんですが、実は介護予防というところで、「元気塾に通ったり、生き活きプラザまで行ったりして介護状態にならないように頑張っています。80歳を過ぎて。」という意見があります。和光市の高齢者の方たちが、やはり意識がすごく高い人もたくさんいらっしゃるというところで、このダイジェスト版とかをさっと開いたときに、和光市の、例えば認定率とか、高齢者の水準、6、7、8年の第9期の、18.1%の高齢化率ですが、認定率はこんな感じというのがよくわかって、そして、ではそれに向けて私たち和光市はこういう取組みをしていますということがわかるというと思います。これから高齢者の人は介護保険料が高くなる、利用したものは1割負担だったり2割負担だったりになっていくといったときに、介護の状態にならないほうが本人も他の人たちも良いわけで、その中で、和光市は、細かな介護予防の、さっき言ったように、利用者さんから、元気塾に行ったり、生き活きプラザに行っていますというような、こういう意見もしっかりと根付いているわけですから、そういったことが本当にパッと見てわかるようにしていただいたほうがわかりやすいと思います。</p> <p>もう1つ、やはりマネジメント力ということで、その中に行くだけではなくて、包括やケアマネジャーさんたちがきちんとケアマネジメントをやっているので元気な高齢者がいるということです。実は特養の利用というのは介護度3以上です。介護度3、4、5の人たちが入るところで、要件があって理由があったら介護の1の人も入れるのですが、実はさっき先生が言っていたように、介護1とかの人たちの認定率が非常に高くなっています。ということは、改善しやすい人もいるかもしれないし、そのまま介護度2になる人もいるけれども、介護度1から要支援の1、2になる人も和光市はかなりいます。そういったところを細かく、数字であったり、見える化して、和光市民、高齢者の市民の方たちにもわかっていただくのがいいと思いました。</p>
村山会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ページ数が限られる中で難しいと思いますが、少なくとも第9期で何をやる</p>

	<p>うとしているのかということがパッと見てわかる必要はあると思います。4ページのような表も別にあってもいいと思います。この表や図も、表題だけで中身がまだないので、わかるような、わからないような感じもするので、それよりはもう少し、例えば各重点施策、重点項目のところをもう少しきちんと説明するようにしたほうが良いと個人的には思いました。あとは、基本理念とかは、いろいろと書いて字がかなり多いので、これは読みたくないという感じがします。何かもう少し、ポイントを押さえたような文章のほうが良いと思いました。</p>
<p>大夛賀副会長</p>	<p>3ページの課題分析で4つ柱が立っており、これがそのまま9期計画の柱になっています。4ページ目の柱につながっているので、3ページの文章の4つのパートは半分ぐらいにしてもらって、要するにこの4つの論点が立ちましたというか、重点にしなければいけない理由がありますという4つの柱みたいなものを置いてもらって、次のページで基本理念、施策の体系を図にもらって、そうしたらこの4ページ下の表はいらなくなるので、そういったかたちで3と4のところをもうちょっと工夫してもうと、もうちょっと情報量が減って、なんでこの4つの柱が出てきて、9期はこういうことを頑張ろうと思っているのかみたいなことが少しわかりやすくなるかと思えます。何か新しく作らない方向で構成していただければと思いました。</p>
<p>村山会長</p>	<p>具体のサービスの情報とか、何とか利用補助とか、何とか助成とか、あとは5ページ目の下のように、何丁目に何という広場がありますという、すごく具体的な情報と施策の体系が混ざっていて、何か構成が読みにくいという感じがします。市民に知ってほしい、あるいは和光市として宣伝したいサービスというのはページをまとめて、具体的な、和光市はこういうことをやっていますよというところはまとめて、施策の説明というのは、ポンチ絵とかそういうのを使ってやるのかわかりませんが、もう少しレベル感を合わせた記述があったほうが良いという気がします。</p> <p>誰がこれを使うかといったときに、いわゆる事業所とか、介護とか保健と医療の専門家の、使う人たちがしっかりと読んだほうが良いページと、市民が見てほしいというページを、少し差別化したほうが、読んでくれるのではないかという気がしました。</p> <p>他にはいかがでしょうか。</p>
<p>山口委員</p>	<p>8期のほうに、結構、地域支援事業がたくさん載っていますが、今回のものは介護予防だけしか載っていません。他市から見ると、介護保険を使わずに地域の状況に行くという受け皿がたくさんあるというのも本市の特徴ではある</p>

	<p>ので、それがたくさんあるという表現も何かあるといいと思いました。</p>
村山会長	<p>8期では、5ページ目がいわゆるサービスの的なもので、6ページ、7ページ目が今回のダイジェスト版でいうところの策定の4つの柱を説明しています。</p> <p>8期のように、具体的なサービスをどこまで細かく入れるかはいろいろ検討があるかとは思いますが、やはり分けておいたほうが、レベル感が一緒でいいような気がします。あとは、ページが見開きで見られたほうがわかりやすいという気はします。8期のものは6、7ページで、見開きで見られました。</p> <p>他はいかがですか。</p>
峯委員	<p>見栄えの点では8期に比べると文字が多かったりして見にくいと思います。対象が市民とすると、やはり内容が入っていくには図とかそういったものが強くなると思います。事務局はいろいろと大変かもしれないですが、よろしくご検討いただけたらと思います。</p>
村山会長	<p>佐藤委員、いかがですか。</p>
佐藤委員	<p>9期のダイジェスト版を見させていただいて、いわゆる介護にならない予防をしていくのか、要介護になったときのこういうことをやっていますよというのが混ざってしまっていると思います。介護になったらこんなことをやりますと捉えられると思いますので、どちらかという、介護にならないようにこんなことをしていますよということも必要ではないかと思いました。</p>
村山会長	<p>内野委員、いかがでしょうか。</p>
内野委員	<p>地域支援事業の項目を見ていました。例えば、運動、フレッシュライフ、ゆめあいトレーニング、いろいろ書いてありますが、具体的な場所とかは、ダイジェスト版でないときには地図に起こしていただけたりとか、電話番号が出ていたりとか、そういうことではあるのでしょうか。例えば、市民の方々がこれを見て、それではうちも是非やりたいといったときに、市役所に行って問い合わせするのか、あるいはこれを見れば直接電話してサービスを受けられるのかどうかというところを少し知りたいです。</p>
村山会長	<p>事務局、いかがでしょうか。</p>
浅井課長補佐	<p>介護予防の事業については、計画のほうでは掲載させていただいております。ダイジェスト版のほうにはこのままですと少し具体的にどこに連絡すれば</p>

	<p>いいのかというのがわかりにくい感じになっていると思います。どのようにするか検討させていただければと思います。</p>
内野委員	<p>はい、わかりました。</p>
村山会長	<p>サービス一覧表ではないので、これを見てやるというのはまた目的が違うような気がします。でも全くないというのもそれはそれであるかと思しますので、そのところの兼ね合いを見てもらえるといいかと思ひます。</p> <p>八木沢委員、いかがでしょうか。</p>
八木沢委員	<p>8期のダイジェストの7のところの特別給付で、パッと見て料金のこととかが載っていましたが、9期のほうには全く記載がありません。素人から見ると、このように金額が載っていると、とてもわかりやすいと思ひました。</p>
村山会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>どこまで具体的な情報を入れるかというのはなかなか難しいところかと思ひますが、確かにイメージがつかないと利用したいと思ひません。</p> <p>村山委員、いかがでしょうか。</p>
村山（喜）委員	<p>これを皆さんがどこまで知っているかということです。私も初めて見ることばかりで、一番身近に感じて、これを直に、本当に一日、一日お世話になるようなことばかりですが、それが一般の市民に全くPRというか、届いてないというのがあるかと、私だけかなと思っただけけれど、まず今言われたみたいに、どこにまず最初にこのことについて相談に行って、そこからどこでこういう手続きとか、そういうことがわかるような場所も設けていただければ、非常に利用をさせていただき、あるいはこれからお世話になる立場としてはありがたいです。皆さんのやっていることは本当に素晴らしいことですが、そこに行き着くまでの一般の市民、一番お世話にならないければならない我々高齢者は意味がわからないのです。せつかくこれだけいいものができるのであれば、まず皆さんが理解できるような方法、これがどこにあって、どうやって利用するのかと、今、考えていました。まずはこれをいかに市民にPRして納得していただけるか、これを利用できるような機会を話してもらえればと思ひます。</p>
村山会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>やはりもう具体的なサービスの金額とかそれは置いておいて、でもこれは包括であれば包括の電話番号も載せるとか、何かもう少しメッセージというか、こういうサービスで問い合わせしたいことがあったら役所や包括に問い合わせ</p>

関口委員	<p>せていただければ大丈夫というメッセージが、この計画のダイジェスト版であっても少しあったほうが良いかと思います。</p> <p>関口委員、いかがでしょうか。</p> <p>本編が約 160 ページにわたるすごく分厚いもので、しかも施策が 3 年間で。実際、私が第五次総合振興計画の作成にあたるときに、市民にいかにわかりやすくするかというかたちで、第五次はライフステージ、子どもはこう、大人はこう、お母さんはこう、年老いたらこう、というふうにわかりやすく柱を表しています。今回、本編はとても立派なものにされていますが、市民にまず知ってもらおうという部分、やはりそこが大事で、ダイジェスト版がどれだけ部数を印刷されて、どこに置かれるかという話が、先ほどの話の中から出てきていません。やはり今回 4 つの柱、これを例えばもっとわかりやすいように市民の方に伝える、そして必要なことは、その後に、細かいことを担当課に聞くとか、そういう手引きのツールに使っていただけたらいいかと思います。以上です。</p>
村山会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>皆さんのご意見を少しかいつまんで考えてみると、やはりこのダイジェスト版をどう使うかという目的を、1 つでなくてもいいかもしれませんが、市民向けなのか、誰向けなのかということを少し気にしていただいた上で、文字だけではやはり読むのもしんどいので、少し図にしてみるとか、そんなに難しい図とか凝った図を入れる必要はないと思いますが、予防からなんとかまでみたいなどころを意識しながら、少し図にさせていただくといいかと思います。それで本編のほうと参照できるようなかたちにさせていただけるといいかというのと、とはいえ、やはり具体的に、市民の方々は、何を使えるのかとか、どういう事業があるのかということを知りたいというニーズもあると思いますので、そうしたページが少しあったほうがいいのかというところです。さらにプラスで、誰に相談するとか、どこに問い合わせるべきかということがわかるような情報というの、この中に盛り込んでいただけるといいかと思います。</p> <p>中身のほうは、修正点をかいつまんで、資料の 1 とか 2 を踏まえながらご説明いただきました。本編のほうは大丈夫ということでよろしいですね。</p> <p>今日は基本的にはダイジェスト版にご意見が集中したので、本編のほうは大丈夫で、ダイジェスト版はもう少し工夫していただけると良いという意見だと思います。</p> <p>他はいかがですか。(特になし)</p> <p>では議題を進めたいと思います。議事の 4 番目、「その他」に関して、事務局からお願いします。</p>

川口課長補佐	<p>事務局のほうから2点ほどございます。</p> <p>まず1点目としましては、今回で策定会議は最後となります。今回いただいたご意見や微調整につきましては、最後、会長一任で事務局と確認、調整をさせていただければと思います。その点、ご了解をいただければと思っております。</p> <p>2点目としましては、今回、表紙の案を、お手元の3点作成いたしました。こちらは高齢者福祉センターのご協力をいただいたのですが、こちらにつきまして、皆様にご覧いただき、どれが一番良いか、例えば挙手をいただいて選定の参考とさせていただければと思います。こちらにつきましては、もちろん内容、中身ではないものですから、こちらのほうで一応選択はさせていただこうとは思ってはますが、委員の皆様いろいろな携わっていただいた中で、示した3つのところにつきまして、挙手いただいて、どれ誰が皆さんにとって、長寿あんしんプランとして良いかというところをご参考させていただければと思います。以上です。</p>
村山会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>事務局より話がありましたが、1点目のご意見の確認とか最終調整のところ、ダイジェスト版はどうなっていくかまた検討が必要な部分もありますが、会も限られておりますので、私のほうで一任とさせていただければと思っております。</p> <p>2点目、机上に配布いただいていると思いますが、表紙の案ということで、皆様のご意見等いただければと思います。</p> <p>案の1は、一番大きいところに体操をしていらっしゃる方、左下にも体操をしていらっしゃる方、下の右に、これは何か会の遠足みたいな、そういう写真です。</p> <p>案の2も構図は一緒ですが、真ん中の大きいところが、ちょっと場面が違うとか、皆さんで手を前に出している写真ということです。</p> <p>案の3が、右下にあったみかん狩りか梨狩りか、柿狩りですか、その写真が一番大きくて、下に体操が2つあるものです。第8期はこの写真がありますので、それも含めて、どういうのが良いかというのを、事務局の提案のとおり、挙手でお伺いしたいと思います。</p> <p>これで決まるのかというと、最終決定ではなくて、事務局が検討することなので、よろしいですかね。では手を挙げていただきたいと思っております。</p> <p>挙手の結果、案1が2票、案2が5票、案3が4票なので、2か3が人気だったということで、事務局のほうで検討いただければと思います。</p>
川口課長補佐	ありがとうございます。

村山会長	<p>では、表紙のほうは事務局にお任せいたします。</p> <p>今回、策定会議は最後になります。時間も限られておりますが、最後に委員の皆様一言ずつ、本当に1分以内で結構ですので、全5回、会議に参加いただいて、今後の和光市への期待だったり、そういったものをいただければと思います。</p>
大塚賀副会長	<p>皆様、ありがとうございました。私は先ほど感想を述べたので、1つだけお伝えさせていただくと、本当に勉強になりました。あとは、これを作って終わりだけではなくて、これをまたモニタリングしていくことが、また3年後、改めてどうなるかというのを、常日頃から、ちゃんとうまくいっているかなと見ていくことが大事かなと思いますので、引き続き皆さん、現場の方、この計画がうまくいっているかということを見守っていただいて、和光市が今後もうまくいくことを祈っております。以上です。</p>
村山会長	<p>ありがとうございます。では峯委員お願いします。</p>
峯委員	<p>委員の皆様、そして何より事務局の皆様、大変お疲れ様でございました。私自身も数ある市の計画の中でも由緒あるこの長寿あんしんプランの策定に関わらせていただき大変感謝申し上げます。今、副会長からもありましたように、この後、計画を作って終わりじゃなくて、あの進捗することがやはり大事ですので、私ども事業者をはじめ、市民にもより啓発した中で、市が音頭をとっていただいて、より推進していただけるように、一緒に頑張っていたいただければと思います。皆さん、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。</p>
佐藤委員	<p>皆さん、ありがとうございます。歯科医師会として、ただお客さんのように座っていましたが、できれば9期ぐらいからは少し何かお手伝いできたかなというふうに、もちろん介護にならないようにするのも必要ですし、介護になってから歯科医師会ではこういうことができますみたいなことが意見として言えればいいかと思っています。ありがとうございました。</p>
内野委員	<p>薬剤師会の内野です。実は今、薬剤師会の、全国薬剤師会、県薬剤師会も含めまして、早めに認知症を見つけてあげる、例えばお釣りを必ず細かいのを出さないで1万円を出してしまう方とか、あるいは、この間目薬を7つ買ったのに、また7つ買っていくとか、そういう方が、たぶん、まだ介護になっていないとか、ケアを受けていらっしやらないとか、そういう方を早く見つけて、そ</p>

川淵委員	<p>れで早くそういう機関に、あるいは今日はじめにずっとやってきたあんしんプランの計画に基づいて、本編を見ながら、どこにどういうふうにして連絡していくか、その発見を早めにして、住民の方々のそういう安心に繋がるような活動をやっていくことは、薬剤師会の仕事でもありますし、私たちのお店でもそれを引き続きやらせていただきますので、最初の相談として薬局を、皆さんにわかっただけのような努力をいたします。よろしくお願いします。</p> <p>包括支援センターの川淵です。今回は、このような貴重な会議に参加させていただいてありがとうございました。市民の高齢者の方とそれを取り巻く介護保険の事業者さんの皆さんの声を、一番現場の声がわかっているというところで、今回会議に参加させていただき、この場を借りて、いろいろと失礼なこともお話ししたかもしれないですが、第9期に向けてしっかりと、介護予防や重症化防止という視点を組み入れながら頑張っていければなと思っています。今回はありがとうございました。</p>
山口委員	<p>ポケットステーションの山口と申します。現場の立場からいろいろと和光市に携わってきて、和光市のいいところを、どのようにしたら皆さんに伝えることができるのかということを考えながら、いつもあの会議のほうに参加させていただきました。和光市のいいところは、本当に行政さんと事業所さんと仲が良いですし、医療と介護の連携とかも、とてもうまくいっているというところで、今後もさらに進めていって、介護予防を重点としてやっていきたいと思っています。これからもよろしくお願いいたします。ありがとうございます。</p>
八木沢委員	<p>民生委員の高齢者部会の部長として、今回、会議に参加させていただきました。初めてのことで、頭のほうは全くパニック状態でわからなかったんですが、民生委員の高齢者として、今独居の方とかもかなりいらっやっています。なので、このように長寿あんしんプランの計画のお話し合いに参加させていただき、少しでも民生委員としてお役に立てればと思いました。今後ともまたよろしくお願いいたします。</p>
村山（喜）委員	<p>和光市の生きいきクラブのほうから来ました。本当に一番真ん中で、一番この中でいうとお世話になる立場ですけれども、こういうことがあるというのを初めて知りました。和光地区の13団体がありますが、その人たちが、もう少し行政との連携ができれば、また、一番身近で見えています、我々が話をかけていいのかどうかと思うような人がやっぱりいるのですね。例えばスポーツをやるのにグラウンドを借りるから出て来てとか、集計的なことをやるから来てとかいっても、なかなか出て来られない、そういう人たちこそ本当に出てきて</p>

らって、こういうことがあるということを知っていただきたいなというふうに思うのです。何度も言うようですが、こんな素晴らしいものを、一番利用しなければいけない人が知らないということが、すごく私はもったいないと思うので、このPRを、何か皆さんに知らしめるような方法があると良いと思います。私たち、13団体の中に必ず会長さんがいらっしゃるので、その人を通してまた民生委員さんあるいは行政と、こういうことがあるんだけどどうだろうかということができると良いのですが、つながりがないのです。老人会、和光市生きいきクラブと、そこと行政との縦の線みたいなのがないので、それができれば実際の本当に生の声が届くのかなと思いつつ、今日はまた勉強させていただきまして、私は地域では自分のところにも出ているけれども、また役員会に行ってこういうことがありましたとお話をしても、これを知らしめてもらえるとありがたいなと思いました。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

鈴木委員

私は国民健康保険の運営協議会の委員として、そういう立場からこの会議に参加させていただきました。同時に私は埼玉県の後期高齢者医療の懇話会というのに、この3年間参加してきたのです。後期高齢者医療は、ご承知のように75歳以上の医療保険制度ですが、その財政的な内容からいいますと、国、公費が5割で、あと4割は現役層からの支援金です。保険料は1割ということで、いわゆる後期高齢者、高齢者になればなるほど、もう、自力というか、医療保険でも、高齢者だけの保険金負担でやっていけない状況で、いわゆる現役層からの支援を受けなければいけないという状況にあるわけです。そういうことを考えると、介護保険も、和光市なんかは人口的にはまだ若い層も多いほうだと思うのですが、段々高齢者が多くなって、現役層、若い層が少なくなっていく状況の中で、非常に厳しい運営にこれからなるのではないかと、そういう意味では介護保険の和光市の状況がどうなっていくか、高齢者が増えていけば、それだけ介護保険はその重要性を増すと思うのです。その上が大変になってくるとは思いますが、やっぱり高齢になっても私たちの住みよい和光市をやっていくためには、こういう制度は重視しなければいけないというふうに考えておりますので、この和光市長寿あんしんプランが市民の中に伝わって、より良い運営をできるように願うばかりです。ありがとうございました。

関口委員

公募委員として参加をさせていただきました。行政関係で、もう今年で14年間いろいろさせていただいていますが、このあんしんプランに関しては、もっと早く勉強しておけばよかったと本当に思います。その間、昨今うちの家の話になりますけれど、親が要介護になってしまったと。本当に日々どうしたらいいのかかわからない。今、いろいろな意味で和光市さんにお世話になっていま

村山会長

すけれども、これは本当に、内容を、ありとあらゆる、これから身にくる恐れがある高齢化に対して、広く知っていただけるように、話がどんどん伝わるようになっていいなと思います。いろいろとありがとうございました。

村山でございます。この第9期の策定委員会では、会長という大役を仰せつかりまして、まあ、いろいろ不手際があったり、至らぬことがあったので、委員の皆さんとか事務局にご迷惑をおかけした部分もあったかと思いますが、ここまでこられて、まだ完成はしていませんが、ホッとしているところです。第8期では、プランを拝見しますと、介護予防とか、認知症とか、介護人材のところがありますが、高齢者の社会参加とか生きがいということは、あったとはいえ大きくは謳われていなかったというのがあると思いますが、今回の計画では、高齢者の生きがいと社会参加というところが大きく出て、非常にそれはいい点だなと思いました。和光市は、良くも悪くも特徴としてコンパクトで小さいというところがあると思います。私はいろいろなところのこういう計画の策定委員をやっておりますが、大きいところは地域特性も全然違うので、1つの計画だけではうまくはまらない地域が多すぎて、どうしていいのか、地域特性を加味しないとどうしようもないという自治体が結構多いのです。和光市は、色々な特徴はあるにせよコンパクトであるというところは、良い方向に働く特徴なのかなと思います。先ほどおっしゃっていましたが、市民の方々にこの計画を周知するとか、市民一体、あるいは市役所と一体になって、こういう計画とかプランを進めていくという点では、良い推進力になっていくのかなというふうに思っております。この計画が、市民の皆様の今後の生活に良い影響を与えられなというふうに思っております。それから、何人かの委員もおっしゃっていましたが、ここで作ったから終わりではなくて、しっかりと評価していくところも大事なポイントかなというふうに思っています。やっぱり、今の流れとして、計画を作って、ちゃんと評価して、そしてまた計画を作っていくというPDCAを回していくという流れになっていますので、こういった計画、あるいは市役所がそういった意識をしっかりとって、他の計画でもしっかりと、何というか、すべてを理詰めにする必要は全くないとは思いますが、ある程度ちゃんと根拠を持って計画を進めていく、施策を進めていくという視点は求められていると思います。こういった策定の場合、市役所の皆さんにとっても、市民の方々と一緒に会話するトレーニングの場になると良いのかなと思います。

まだ完成ではありませんけれども、できるだけ、少しでもいいものにしていくように、私はもう少しいろいろと事務局の皆さんとやっていければいいかなというふうに思っております。完成した暁には、是非、皆さんもこの計画を周知いただけるようにしていただくとありがたいなと思っております。短い

齋藤部長	<p>間でしたけれども、いろいろとありがとうございました。</p> <p>では、以上をもちまして、長寿あんしんプラン計画策定会議を終了させていただきます。</p> <p>事務局からお願いいたします。</p> <p>健康部長の齋藤でございます。当委員会の閉会に際しまして、事務局を代表しまして一言申し上げさせていただきます。</p> <p>昨年8月から5回にわたって検討を重ねてまいりました、第9期長寿あんしんプランにつきまして、本日、計画書を取りまとめることができました。本日の議事にもございましたが、今年1月にパブリック・コメントの実施、及び市民説明会を開催し、意見を頂戴することによって、これまでの委員会での検討内容をより深めることができたものと考えております。また、委員会を通じまして、効果的な周知の必要性や、今後必要となる取組みの新たな視点を獲得することができました。</p> <p>当委員会につきましては、本日をもちまして終了となりますが、委員の皆様には、市民の皆様が本計画の基本理念である、高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けられることを実感できているか、また、事業の推進状況を見守っていただけますと幸いです。</p> <p>これまで5回の当委員会へのご出席や、ご発言につきまして、御礼を申し上げますとともに、皆様のご多幸をお祈りして、事務局の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。</p>
村山会長	<p>ではよろしいですね。これで閉会とさせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">＜閉会＞</p>
	<p>議事録署名人</p> <p style="text-align: center;">_____</p> <p style="text-align: center;">村山 喜三江</p> <p style="text-align: center;">_____</p> <p style="text-align: center;">鈴木 正敏</p> <p style="text-align: center;">_____</p>